

2015年7月16日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 (No.7)

「女子大生の旅事情」に関する調査結果
～女子大生の9割が旅行好き、人気の旅先は沖縄～

実践女子大学人間社会学部・実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「旅事情」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は63サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、自分たちの消費活動、ライフスタイルをはじめ「実践女子大生が自分たち自身」を科学する研究会です。

総括

今回の調査を通して、女子大生のほとんどが「旅行が好きだ」ということがわかった。6%の人は旅行があまり好きでないと回答したが、嫌いとは回答した人はいなかった。また、7割の人が年間に複数回旅行に行っている。7割以上が主に友人との旅行で、夏に旅行に行く人が多かった。夏に次いで春に行くことが多いと回答した人が多く、夏休みや春休みの長期休暇を利用して友人と旅行に行く人が多いようだ。平均的な国内旅行の予算は、約6割が1万～3万円未満であった。国内旅行で行って良かったところ、行ってみたいところを尋ねた結果、ともに最も回答数が多かったのは沖縄で、女子大生に人気の旅先は沖縄であるということがわかった。

調査結果のポイント

(1)女子大生の9割以上は旅行好き

旅行が好きか尋ねたところ、94%の人が「とても好き」または「好き」と回答した。「あまり好きでない」と回答したのは6%で、「嫌い」と回答した人はいなかった。旅行が好きな理由には、「新しい経験ができる」「気分転換になる」といった意見が多くみられた。旅行があまり好きでないという回答の理由には、「お金がかかる」「準備が面倒」「環境の変化に疲れる」といった理由があげられた。

(2) 1年間で旅行に行く回数は2~4回が5割、予算は1万~3万円未満が約6割

1年間で行く旅行(1泊以上)の回数を尋ねたところ、2~4回と回答した人が53%、5~6回と回答した人が14%、7回以上と回答した人が3%と、7割の人が1年に複数回旅行に行っているということがわかった。予算は59%の人が1万~3万円未満、28%の人が3万~5万円未満、1万円未満は5%、5万円以上は8%であった。

(3) 季節は夏、7割以上が主に友人との旅行

主に誰と旅行に行くか尋ねると、76%が友人だと回答した。一人と回答したのは3%で、一人旅をする女子大生はあまりいなかった。いつ旅行に行くことが多いか尋ねると、最も多かったのが夏で59%、次いで春が24%で、長期休みを利用して旅行に行く人が多いようである。

(4) インターネットから情報を収集し、交通手段も宿も自分で手配

あなたが旅行を計画するとき、何から情報を収集するか尋ねると、54%がインターネットだと回答した。次いで、旅行代理店が21%、ガイドブックや旅行雑誌が20%、友人や知人からの口コミが5%であった。テレビ番組から情報を収集している人はいなかった。約5割の人がインターネットから情報を収集しているということで、これは情報化社会の進展が影響しているのではないかと考えられる。

(5) 旅先を決めるときの一番のポイントは観光スポットが6割

旅先を決めるときのポイントになることは何か尋ねると、61%が観光スポットだと回答した。次いで料金が18%、宿泊施設が10%、交通手段が8%、季節のイベントが3%であった。また、旅に期待することは何か、該当度の高い順に尋ねると1位が観光名所であった。この結果から、旅行をする際に重要なのは観光であることが分かる。

(6) 人気の旅行先は沖縄

国内旅行で行ってよかった場所を尋ねたところ、京都・沖縄という回答が一番多く、次いで北海道、大阪という回答が多かった。少数だが、神奈川(箱根)や栃木(那須)という回答が得られた。今後行きたい場所または行く予定の場所を尋ねたところ、沖縄・北海道の回答が多く、次いで大阪という結果だった。また、福岡・宮城・長崎といった九州地方に行きたい、行く予定だと回答した人の割合が高かった。沖縄・北海道はもう一度行きたいという考えの人が多いようだ。旅に期待することを順位づけしてもらったところ、1位は観光名所で43%の人が回答していた。次いで2位が食事、3位は気分転換であった。

(7) 一ヶ月の収入と旅行の予算の関係性

一ヶ月の収入(アルバイト代・お小遣いを含む)を尋ね、国内旅行の一人当たりの平均的な予算との関係性を調べたところ、一ヶ月の収入が8万円未満の人では、旅行の予算が一ヶ月分の収入以上であるという人が1割いることがわかった。また、収入が8万円以上の人は、予算が一ヶ月分の収入より高いという人はいなかった。

調査結果について

<調査概要>

調査対象	実践女子大学渋谷キャンパス在学生
調査方法	調査票調査
調査期間	2015年7月1日～7月6日
有効回答数	63人
回答者の属性	【学年】3年生

<本調査担当チーム>

実践「ペルソナ」研究会

3年 久保木麻由

3年 高梨美果

3年 富田久美子

3年 渡部久世

調査結果データ

(1) 女子大生の9割以上は旅行が好き

旅行が好きか尋ねたところ、94%の人が「とても好き」または「好き」と回答した（図1）。「あまり好きでない」と回答したのは6%で、「嫌い」と回答した人はいなかった。旅行が好き理由は「気分転換になる」が36%、「新しい経験ができる」が34%であった（図2）。この2つの意見に続いて多かった回答は「外出することが好き」で14%であった。また、「同行者と親睦を深めることができる」「非日常を味わえる」といった回答もみられた。旅行があまり好きでないという回答の理由には、「お金がかかる」「準備が面倒」「環境の変化に疲れる」といった理由があげられた。

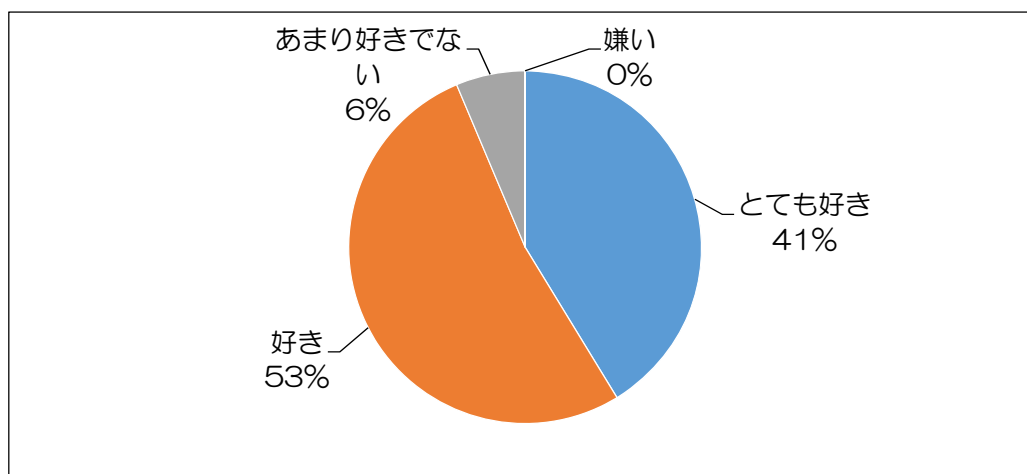


図1. 旅行が好きかどうか (N=63)

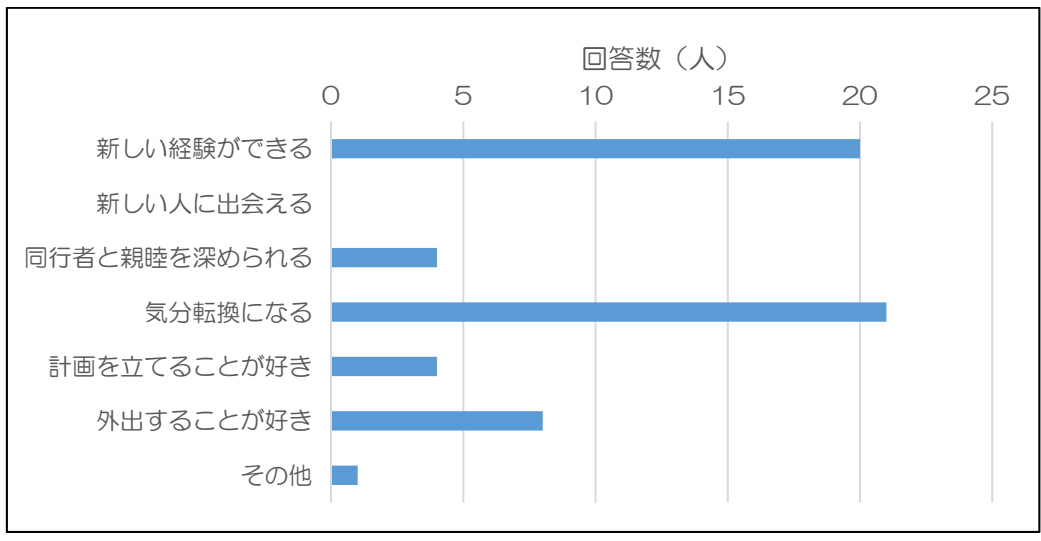


図 2. 旅行が好きな理由 (N=60)

(2) 1年間で旅行に行く回数は2~4回が5割、予算は1万~3万円未満が約6割

1年間で行く旅行(1泊以上)の回数を尋ねたところ、2~4回と回答した人が53%、5~6回と回答した人が14%、7回以上と回答した人が3%と、7割の人が1年に複数回旅行に行っているということがわかった(図3)。その一人当たりの平均的な予算(国内旅行の場合の交通費、宿泊費)は59%の人が1万~3万円未満、28%の人が3万~5万円未満、1万円未満は5%、5万円以上は8%であった(図4)。5千円未満と低予算の人はわずか2%であった。

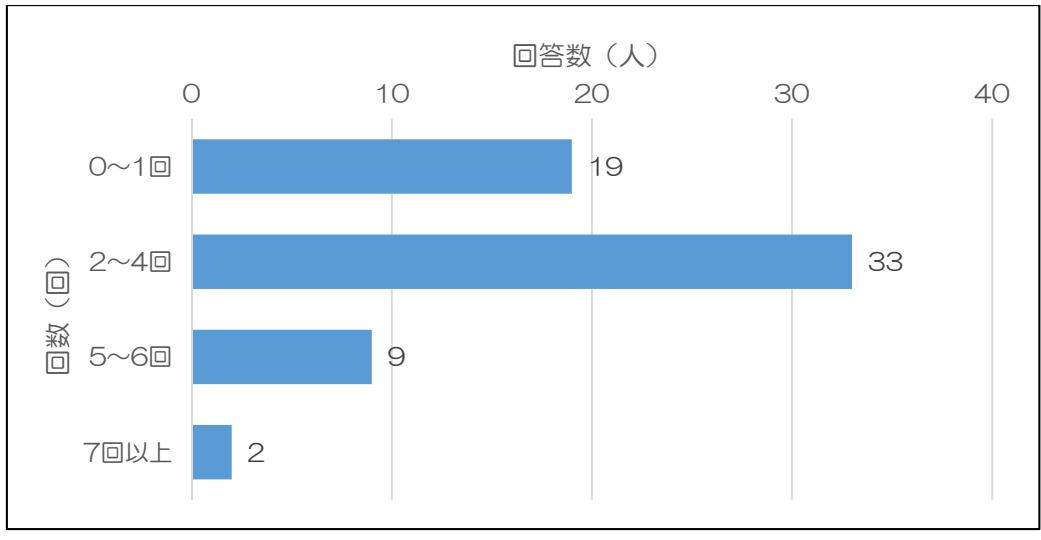


図 3. 1年間で旅行に行く回数 (N=63)

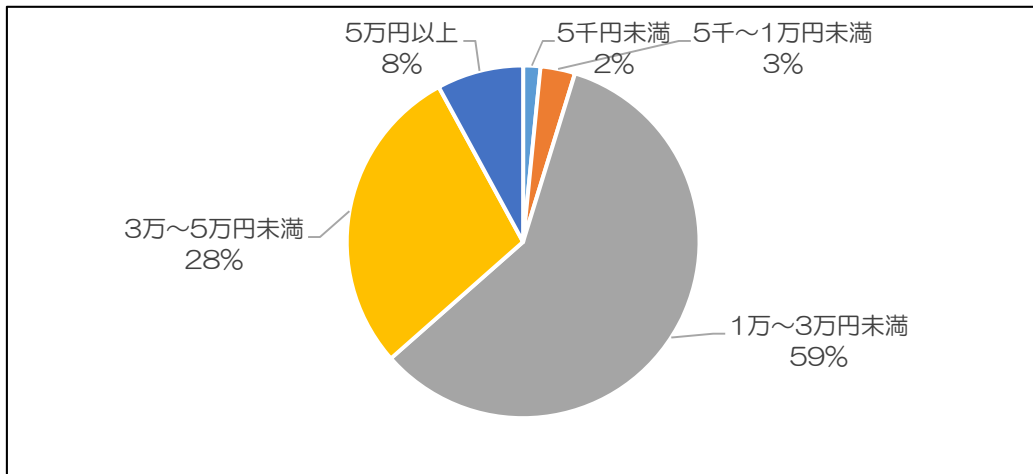


図4. 国内旅行の平均的な一人当たりの予算 (N=63)

(3) 季節は夏、7割以上が主に友人との旅行

主に誰と旅行に行くか尋ねると、76%が友人だと回答した(図5)。一人と回答したのは3%で、一人旅をする女子大生はあまりいない。いつ旅行に行くことが多いか尋ねると、最も多かったのが夏で59%、次いで春が24%で、長期休みを利用して旅行に行く人が多いようである。同行者に友人が多いという結果に対して、長期休みを取っているため日程が合わせやすいからであると考えられる。また、上京している人も多いため家族との旅行が少ないのではと読み取れる。春の方が、長期休みが長い大学生だが、夏に旅行に行く人が多いという結果に対して以下のことが考えられる。春休み期間の2月3月は出かけるにはまだ寒く、夏の方が春より外に出かけやすいと考える。また夏の方が、イベント事が多いことも関係しているのではないかと考える。そして、秋冬より長期休みのとれる春夏は帰省する人も多いためこのような結果になったと考える。

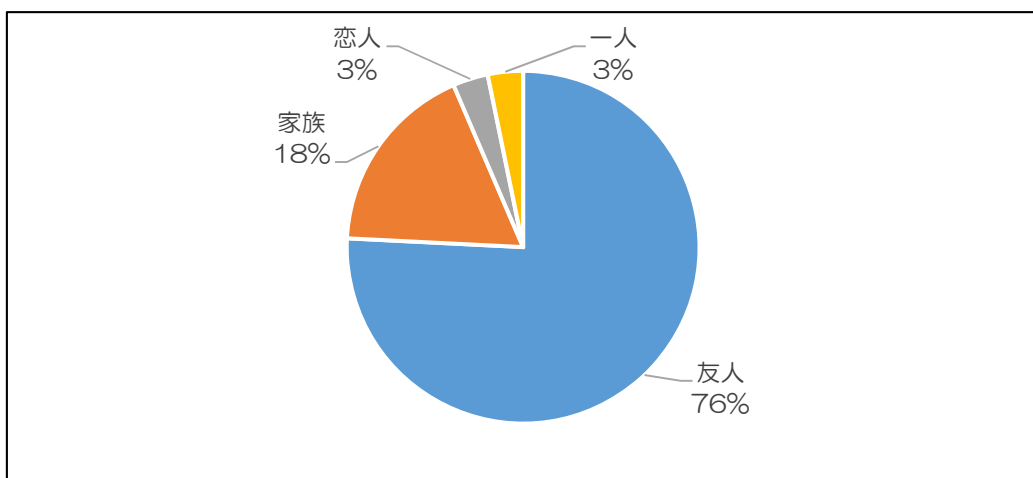


図5. 一緒に旅行に行く人 (N=63)

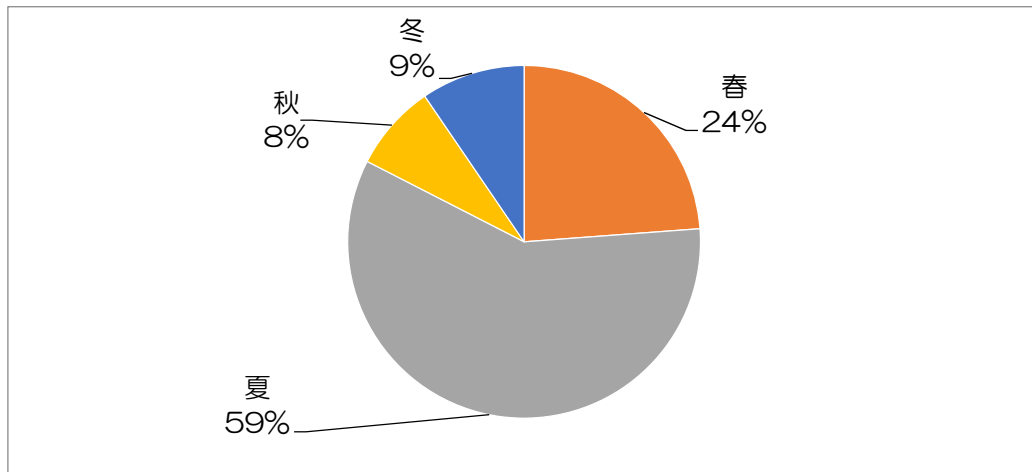


図6. 旅行に行く時期 (N=63)

(4) インターネットから情報を収集し、交通手段も宿も自分で手配

あなたが旅行を計画するとき、何から情報を収集するか尋ねると、54%がインターネットだと回答した(図7)。次いで、旅行代理店が21%、ガイドブックや旅行雑誌が20%、友人や知人からの口コミが5%であった。テレビ番組から情報を収集している人はいなかった。約5割の人がインターネットから情報を収集しているということで、これは情報化社会の進展が影響しているのではないかと考えられる。

また、旅行に行くとき、主にどの計画を利用するか尋ねると、交通手段も宿も自ら手配すると回答した人が57%で最も多かった(図8)。次いで、終日自由行動のツアーが35%、旅行日程が決まっているツアーが6%であった。行程が決まっているツアーはあまり利用されていないことがわかった。旅行サイトなどを通じて簡単に予約がとれることから、このような結果になったのではないかと考えられる。

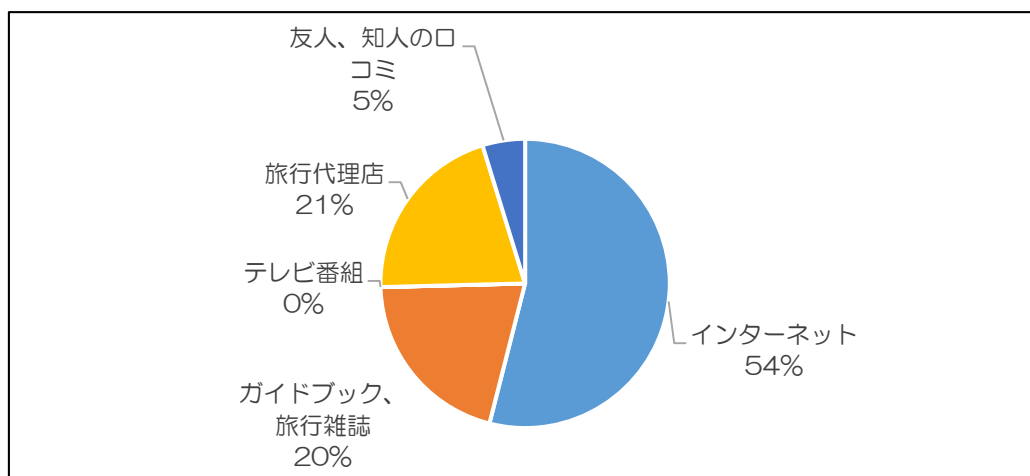


図7. 情報収集するところ (N=63)

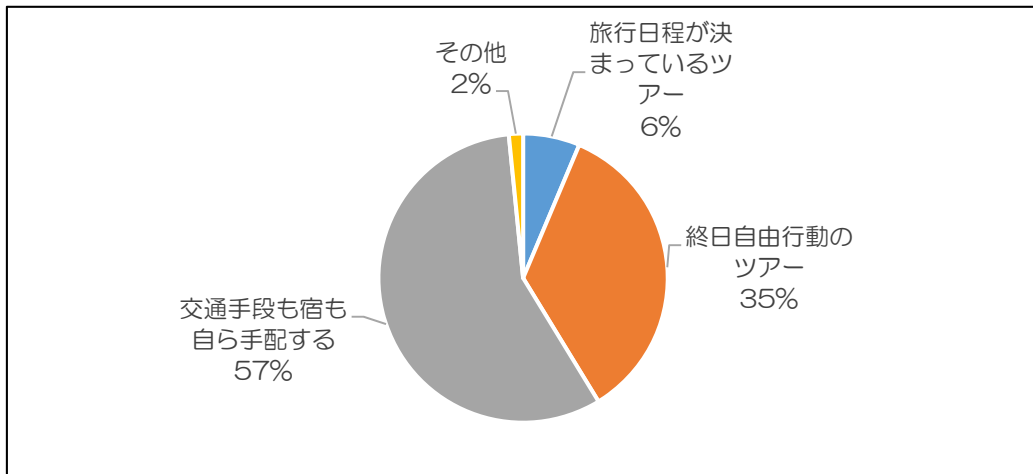


図 8. 旅行の計画の仕方 (N=63)

(5) 旅先を決めるときの一番のポイントは観光スポットが 6 割

旅先を決めるときのポイントになることは何か尋ねると、61%が観光スポットだと回答した(図9)。次いで料金が18%、宿泊施設が10%、交通手段が8%、季節のイベントが3%であった。また、旅に期待することは何か、該当度の高い順に尋ねると1位が観光名所であった。この結果から、旅行をする際に重要なのは観光であることが分かる。

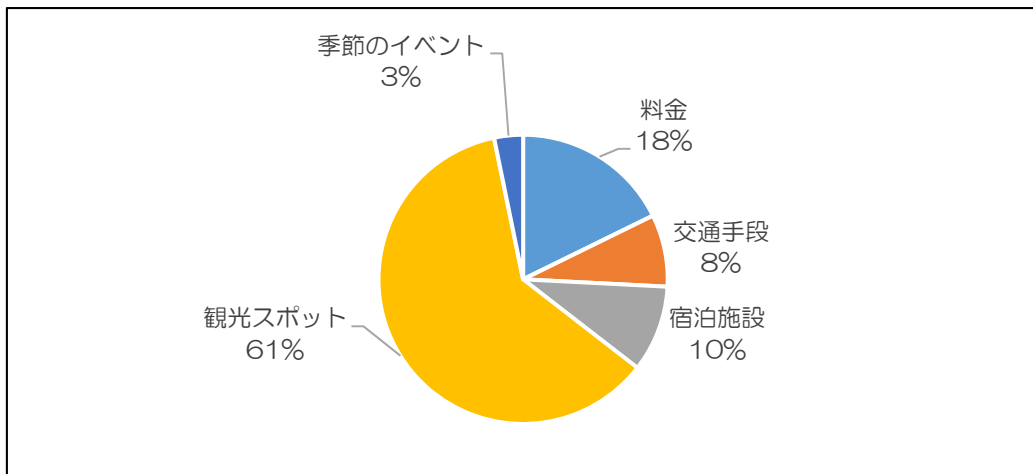


図 9. 旅先を決めるときのポイント (N=63)

(6) 人気の旅行先は沖縄

国内旅行で行ってよかった場所を尋ねたところ、京都・沖縄という回答が一番多く、次いで北海道、大阪という回答が多かった。少数だが、神奈川(箱根) 栃木(那須)といった温泉地の回答も得られた。沖縄・京都は修学旅行で定番の行き先なことも影響していると考えられる。神奈川・栃木の回答が得られた理由としては、都心からそこまで遠くなく、金銭的にも他より手軽に行けることも関係していると考えられる。今後行きたい場所また

は行く予定の場所を尋ねたところ、沖縄・北海道の回答が多く、次いで大阪という結果だった。また、福岡・宮城・長崎といった九州地方に行きたい、行く予定だと回答した人の割合が高かった。沖縄・北海道はもう一度行きたいという考えの人が多いためであろう。また、九州地方に興味を持っている人が多いことから、国内旅行で行ったことのない場所を開拓したいと考えているのではないかと読み取れる。

旅に期待することを順位づけしてもらったところ、1位は観光名所で43%の人が回答していた。次いで2位が食事、3位は気分転換であった。

(7)一ヶ月の収入と旅行の予算の関係性

一ヶ月の収入（アルバイト代・お小遣いを含む）を尋ね、国内旅行の一人当たりの平均的な予算との関係性を調べたところ、一ヶ月の収入が8万円未満の人では、旅行の予算が一ヶ月分の収入以上であるという人が1割いることがわかった（図10）。また、収入が8万円以上の人では、予算が一ヶ月分の収入より高いという人はいなかった。一ヶ月の収入の使い道が旅行だけとは限らないので、(3)であったように長期休みに友人との旅行に行くため、収入のうち自由に使えるお金の一部を貯め蓄積した旅行に行くのではないかと考えられる。

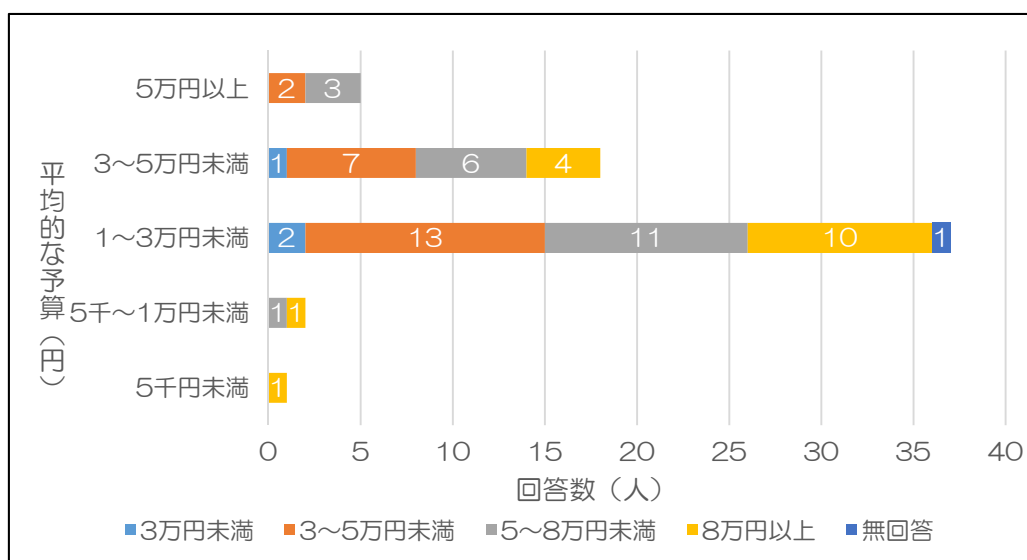


図 10. 旅行の平均的な予算と一ヶ月の収入 (N=63)

今回、旅行事情を調査した結果、「夏に予算1~3万円未満で友人と気軽に行ける旅沖縄」が理想の旅行であると考えられる。人気の観光スポットめぐりや、美味しい食事をして楽しむのが女子大生のいまどきの旅行プランであるといえよう。